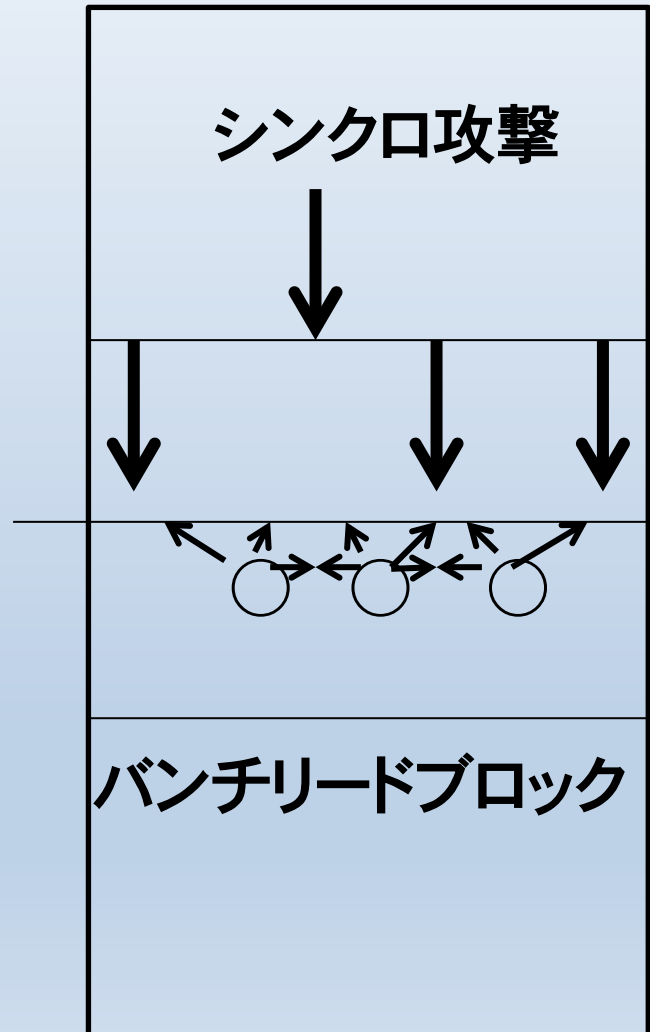




ディフェンス分析

バンチリードブロック vs. シンクロ攻撃



オフェンス側は4人のアタッカーが「ファースト・テンポ、同時多発、位置差攻撃」のシンクロ攻撃を展開

ブロック側は4人のアタッカーに反応しなければならぬため、数的に不利な状況となっている

ブロックの選択肢を減らすために・・・

- 相手レシーブをサーブで崩し、アタッカーの選択肢を減らす
- 配球傾向から相手アタッカーを絞り込み、バンチリードの拘束を解く

+

ブロックとフロアディフェンスを関連づける

S1で51サー
ブを打つ

+

レフト攻撃が
少なくなる
($P > .05$)

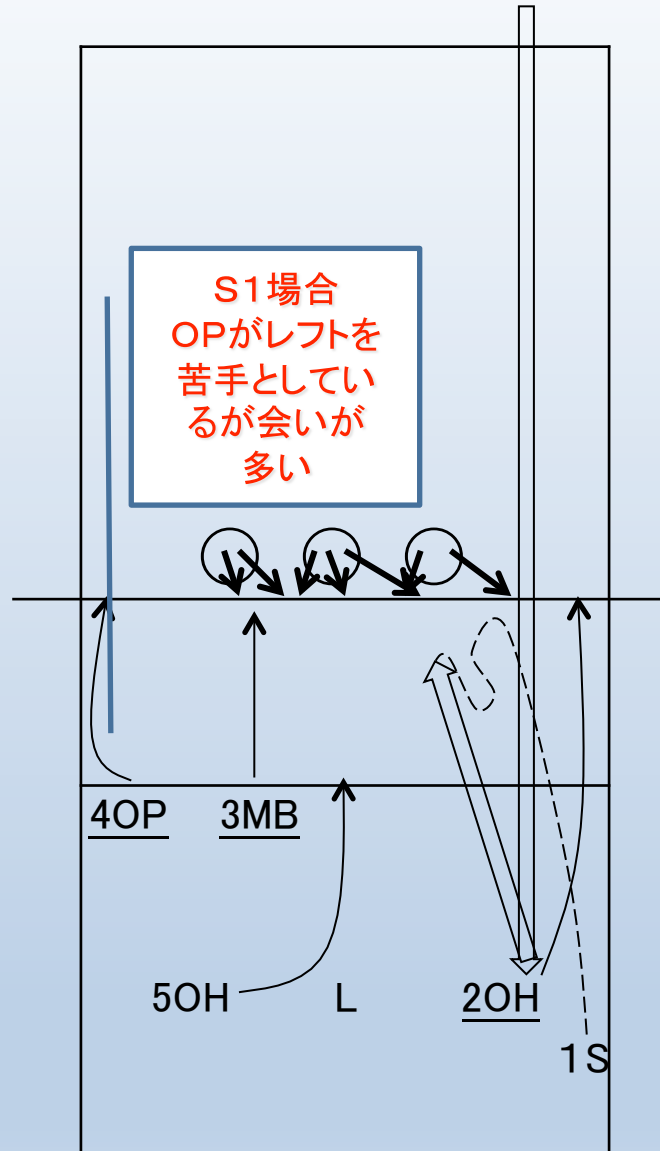
+

ブロッカー
の選択肢
を減らせる

||

サーブとブロッ
クを関係させ
たトータルディ
フェンスの構築

51サーブ



S1のサーブコースと
ス配球の関係

ナショナルチームへの支援

- サーブを打つ位置とサーブコースによってレセプションがどのゾーンに返りやすいか、また、そのときの返球位置によってセッターはどこにトス配球する傾向が多いかを、ローテーションごとに分析することにより、どのようなサーブを打てば、ブロッカー陣が反応すべきエリアやアタッカーを限定できるかが明らかになり、**サーブとブロックを連係させたトータルディフェンスを構築する**

コミュニケーションスキル



TOKYO2020

10) チームメイトへの上手なアドバイス、**誉め方、叱り方**

- 「頑張れ」「しっかりやれ」ではなく、「頑張ろう」「しっかりやろう」
バレーボールは「私」「あなた」がプレーするのではなく、「私たち」「俺ら」がプレーするスポーツ
- 「自分はこう思うけど、おまえはどう思う？」
自分の意見を押し付けずに、相手の意見も尊重する

コミュニケーションスキル



TOKYO2020

12) ペーシング (pacing) で相手に話をさせよう 姿勢のMirroring, 感情のTuning, 話し方のMatching

- 表情態度: ニコニコしながら聴く、視線を合わせる、うなづく、身を乗り出して聴く
- 声: 声のトーンを合わせる、声の大きさに強弱をつける、話すスピードを合わせる
- 相づち: うんうん、そうそう、なるほど、そうなんだ～、いいですね、おもしろいね～
- 感嘆詞: へえー、ホントに、うっそ～
- 接続詞: それで、それからどうなったの
- 繰り返し: 外を走ってきたよ → へ～、外走ってきたんだ



TOKYO2020

ほめかたの正誤

- ○○ちゃんテーブルをかたずけてくれる？
- うわぁいい子ね、おりこうねー
- なんていい子なんでしょう
- といった人格を褒めることは
 - NG
- ○○ちゃんテーブルをかたずけてくれる？
- うわぁテーブルがきれいになったじゃない
- 手伝ってくれてたすかったわ、ありがとう
- といって具体的にほめると
 - OK



TOKYO2020

「ビミョー」「別に...」

やばい

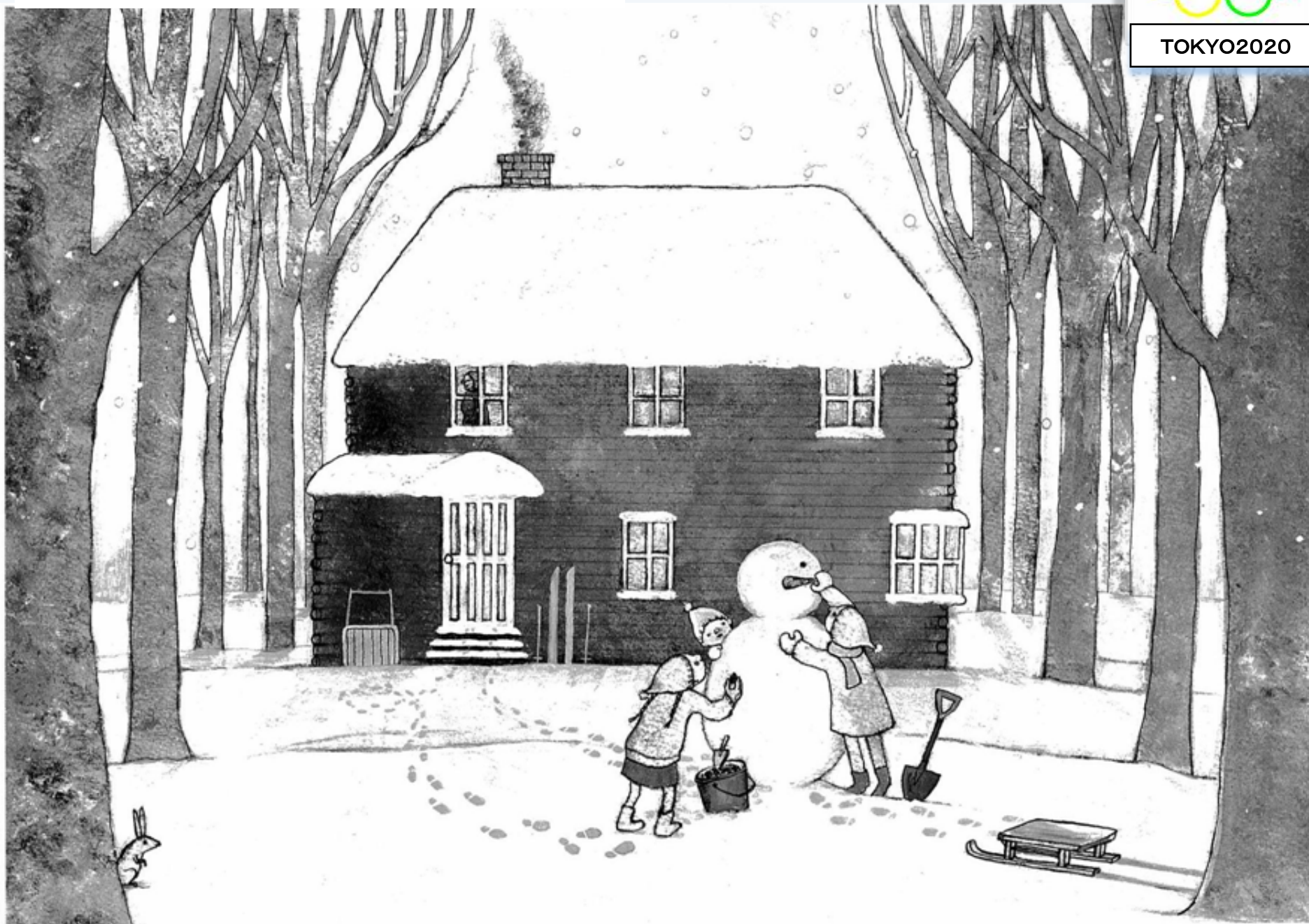
➡ 思考の放棄

これを許していると、思考自体を失うことになる

言語技術教育： 絵の分析



TOKYO2020





追求することに対する
関係者全員の
想い、確信、志



TOKYO2020

国内の場合でも国際試合でも

- 国内の場合（バレーボール）
- いい選手が集まって勝つ場合もある。
 - しかし
- そこにその価値に比例するプロセスが無ければ……………
 - はたして心から湧き出る感動を
 - そして
- 何事にも負けない精神力を持てるだろうか？

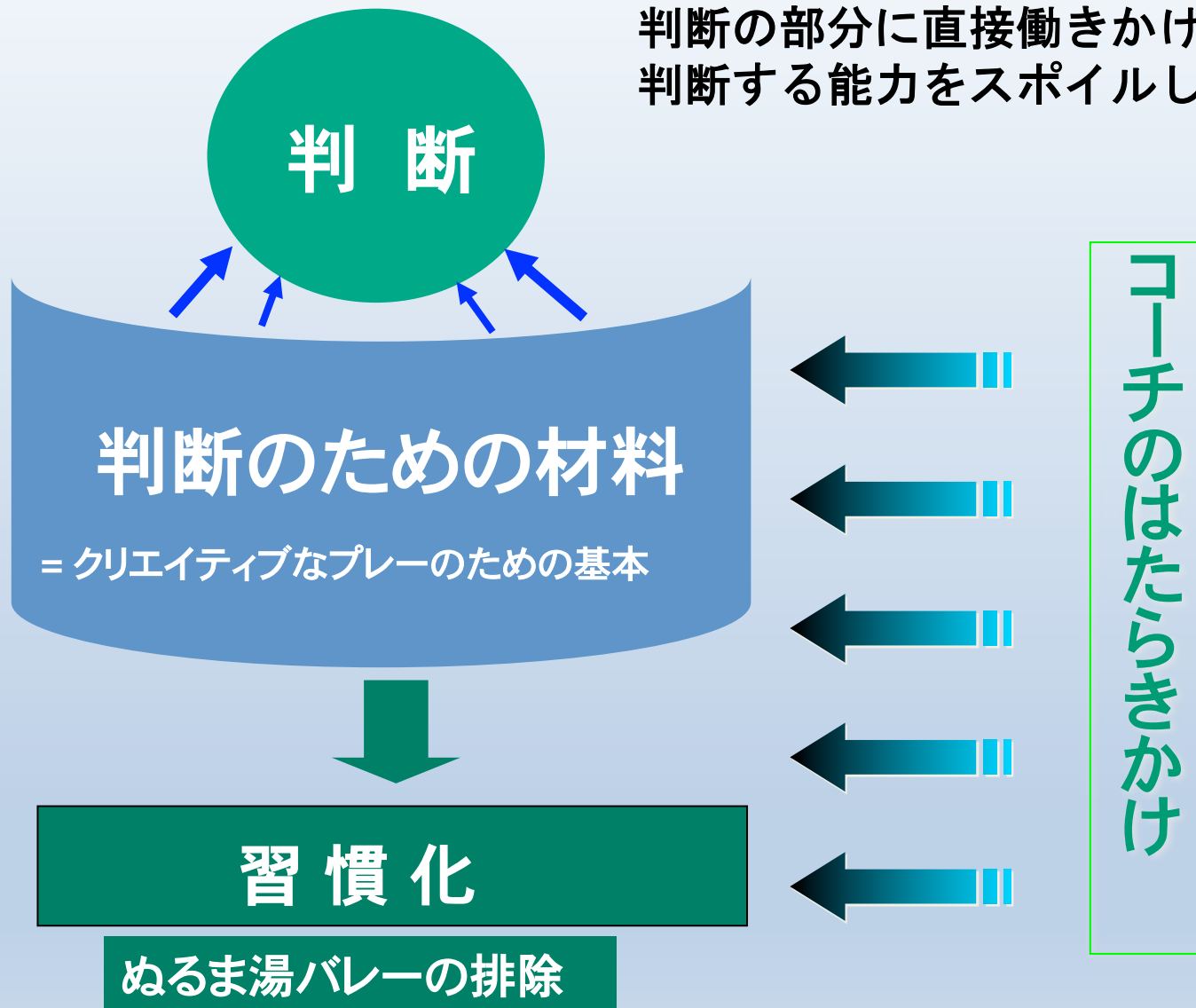


TOKYO2020

やる気を引き出すための動機づけ

- なぜ〇〇をしなければならない
 - 例えば
 - オリンピックに行く価値と責任（松平氏談）
 - オリンピックのイメージを解りやすく伝える
 - 計画や方針を明確にし、ゴールを伝える
 - 大い目標から小さい目標まで具体的に
 - 小さい（マイクロサイクル）目標達成のための説明
 - ミクロ～メゾレベルで評価する（達成状況）

判断の部分に直接働きかけすぎると
判断する能力をスポイルしてしまう





TOKYO2020

ナイトサイエンス

- 夜寝ている時に気づく
 - ひらめき
 - 思いつき
 - 気づき

一度の人生



TOKYO2020

縦の線 横の線



TOKYO2020

あきらめたら終わりだ
あきらめなければ
終わらない！！

Players First !!

現場を知る

スポーツを通じたよりよい社会の実現へ
Team JAPAN
